

健やかな未来への第一歩！

認知症リスク 遺伝子検査キット

ApoE検査

アルツハイマー型認知症とは

日本では認知症の中で、アルツハイマー型認知症が半数以上を占めているといわれています。アルツハイマー型認知症は脳内にアミロイドβタンパク質が徐々に蓄積して発症すると考えられています。ApoE（アポリポプロテインE）遺伝子はアミロイドβタンパク質の蓄積や凝集を調節する働きを持っており、そのタイプによってリスクの違いが示されています。本検査は、ApoE遺伝子のタイプを解析することで、ご自身の認知症リスクを知ることができます。

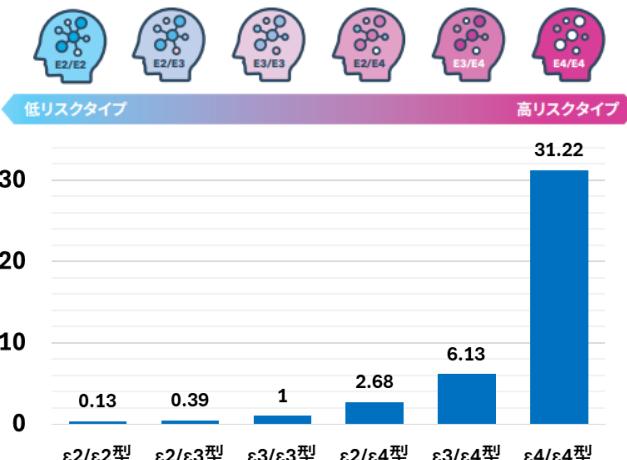
本サービスの特長

2025年時点で65歳以上の5人に1人（約750万人）が認知症になるといわれています。ご自身の遺伝的なリスクを事前に知り、早期から生活習慣の改善に取り組むことで、認知症の予防と将来の健やかな生活に役立てることができます。

- 検査に必要な検体は頬の内側を専用スワブで採取するだけで採血不要。“簡単・痛みなし”で使える検査キットです。
- 認知症リスクを遺伝子検査で“見える化”。遺伝子は生涯変わらないので検査は一度だけで済みます。
- 現在の生活習慣を踏まえた認知症予防のアドバイスも掲載。“知って備える”をサポートします。

アルツハイマー型認知症の遺伝子リスク

認知症リスク遺伝子（ApoE）の遺伝子タイプからアルツハイマー型認知症になりやすい体质がわかります。



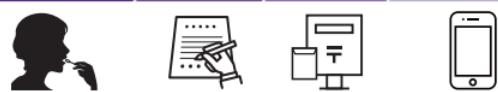
※E3/E3型の発症リスクを1とした度合（オッズ比）

Eric M. Reiman et al. Nature communications 11:567 (2020) の研究結果より作成

※本検査は将来の認知症の発症の有無を判定するものではありません。また、現在の認知症等の体調の状態を調べるものではありません。

検査の手順

検体採取 → 申込書等記入 → 郵送 → 結果確認



検体を郵送すると検査結果をWEB上で閲覧できます。

検査結果

E3/E4型の特徴



ApoEがE3/E4型のあなたは、
発症リスクが高いタイプです。

脳にアミロイドが蓄積しやすくなる
アルツハイマー認知症を発症しやすいタイプとされています。

ただし、リスク高くて必ず認知症になるわけではなく、
リスク低くても認知症にならないわけではありません。
生活習慣に気を付けて、健康な生活を送ることを心がけてください。

日本人の割合

14.6%

発症相対リスク

6.13倍

6パターンの遺伝子タイプがわかります。

予防対策



認知症予防に役立つ対策方法・日々の生活習慣のアドバイスをレポートで解説します。



〒567-0047 大阪府茨木市美穂が丘8-1 大阪大学
産業科学研究所 オープンイノベーション棟O1-104
株式会社ビズジーン
info@visgene.com

